

令和七年度

一般選抜問題 一期【二日目】

国語

【試験時間 午前十時～午前十一時】

整理番号

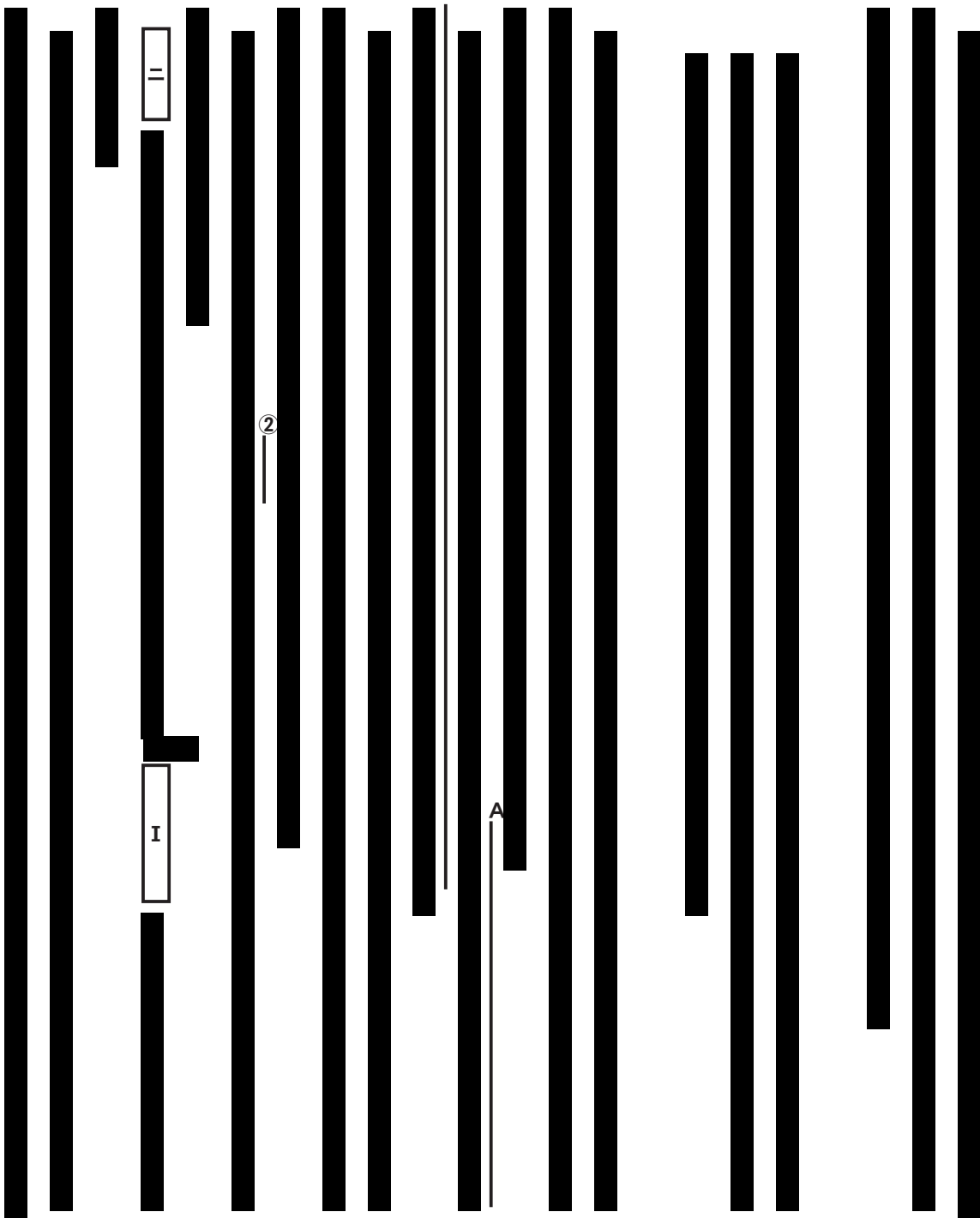
注意事項

- 一、試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 二、国語の問題は一ページから十三ページまであります。
- 三、解答用紙は一枚です。
- 四、試験中に問題冊子および解答用紙の印刷不鮮明、落丁（ページの脱落）・乱丁（ページの乱れ）に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 五、問題冊子の余白等は自由に利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
- 六、試験時間は六十分です。
- 七、受験番号と氏名は、解答用紙の指定された欄に記入しなさい。
- 八、解答は、すべて解答用紙の指定された欄に記入しなさい。
- 九、必要以外のことを解答用紙に書いてはいけません。
- 十、問題冊子は持ち帰りなさい。

—
次の文章は、今井悠介『体験格差』の一部分である（ただし、少し書き換えた）。読んで後の設問に答えなさい。

（五十点）

「ハ」
「ロ」
「イ」



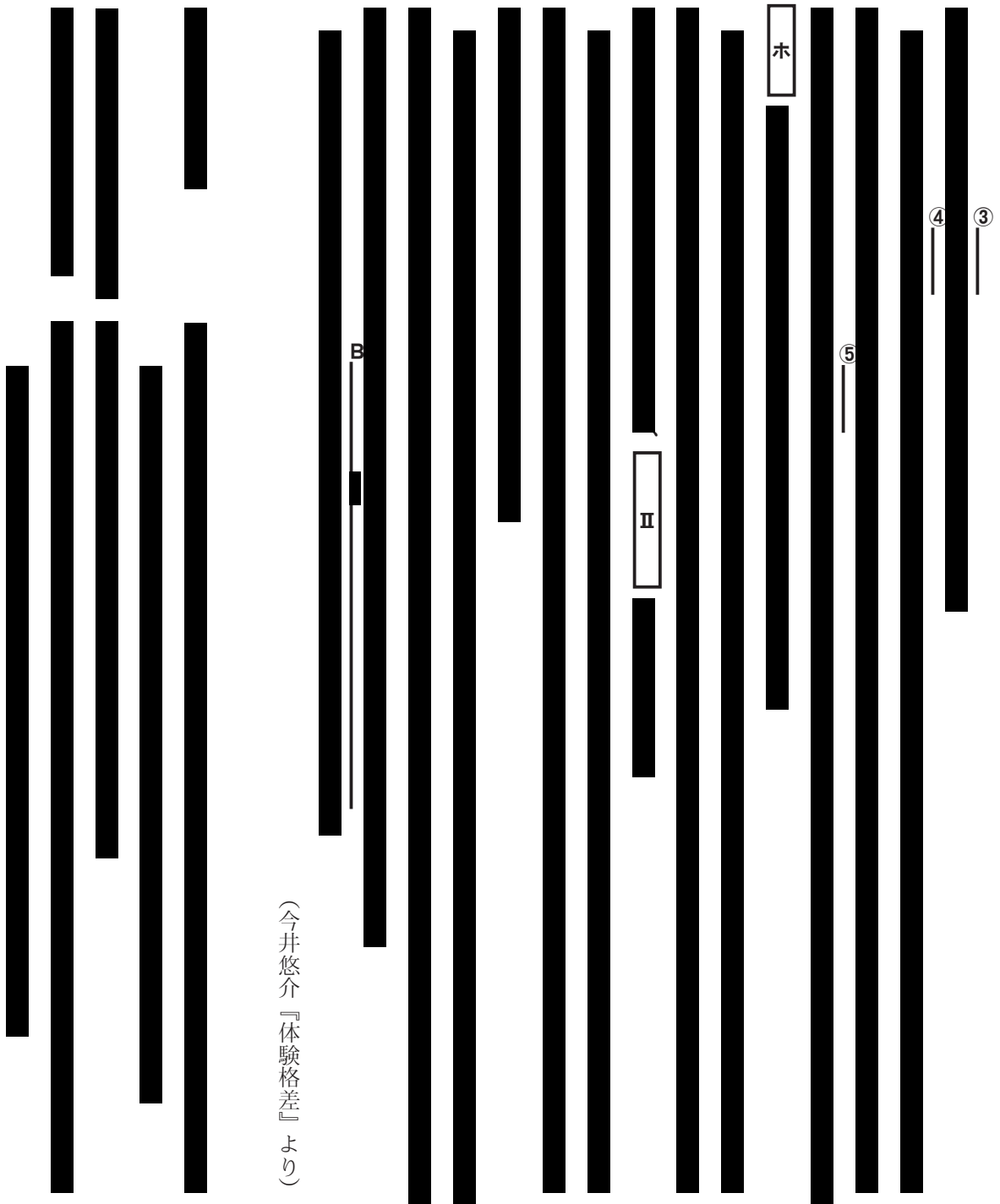
=

I

A

①

②



(今井悠介『体験格差』より)

問一 傍線部①～⑤について、カタカナを漢字に直しなさい。

問二 空欄 **イ** ～ **ホ** に当てはまる語句を次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい（ただし、使用は一度のみ）。

- a 最後に b 例えば c では d 逆に言えば e まず

問三 傍線部 A 「

とあるが、これは具体的にはどのようなことか。本文中に挙げられている具体例を二つ抜き出して書きなさい。ただし、例1は二十九字、例2は四十字とする（句読点も一字に数える）。

問四 空欄 **I** にはどのような表現が入るか。当てはまる表現を本文から抜き出して八字で書きなさい（句読点も一字に数える）。

問五 空欄 **II** にはどのような表現が入るか。次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- a 保護者がお金を払えるのならば
b 保護者その「体験」の経験者ならば
c 保護者による送迎が可能ならば
d 保護者が活動のお手伝いができるのならば
e 保護者がルールに従えるのならば

問六 傍線部 B 「 とあるが、筆者の主張と一致しないと考えられる提案

はどれか。次の中から全て選び、記号で答えなさい。

- a 自らの努力で大人になってから「体験」の機会を得られるようになった人の体験談を集めて公開する。
b 安価に「体験」の場を提供できるようにするため、公民館や市立の体育館など公共施設を維持活用する。
c 「体験」の場の提供者の情報を集め、子どもや保護者に紹介するコーディネーターを配置する。
d 子ども自らがやりたいことを選べるように、行政などが子どもや保護者へ「体験」の費用を直接的に補助する。
e 調査によって体験格差の傾向が明らかになったので、今後は調査を終了し、「体験」の場の提供だけに注力する。

問七 二重傍線部

「とあるが、これはどういうことか。本文中の言葉を
用いて百字以内で説明しなさい（句読点も一字に数える）。

問八

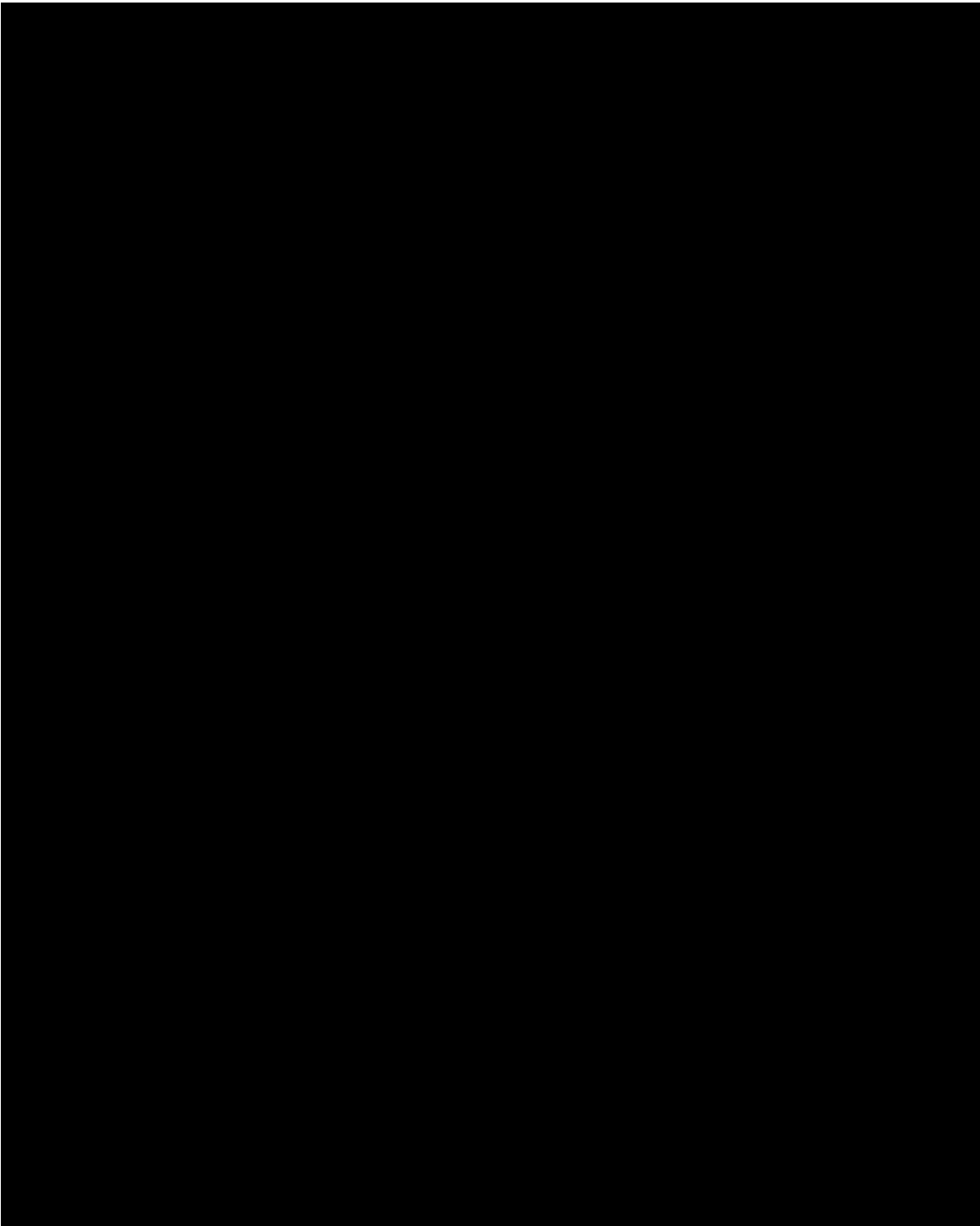
左の【表】と【グラフ1】～【グラフ3】は、本文とは別の箇所
で示されているものである。左の文章は、これらの表と
グラフについて簡単にまとめた文章である。空欄①～④に
当てはまる言葉をa～iから選び、記号で答えなさい（た
だし、同じ番号には同じ記号が入る）。

- a 地方 b 都市部 c 居住地 d 世帯年収 e 親の学歴 f 文化的体験
g 自然体験 h 平日 i 休日

左の【表】と【グラフ1】～【グラフ3】は、筆者が「体験格差」の
全国調査を行った結果をまとめたものである。調査対象とな
った「体験」の範囲は、【表】に示されている。【グラフ1】
の「放課後の体験の参加率」による

と、①が高い世帯の子どもほど参加率が高かった。【グラフ2】
では、②より③の方が体験への参加率が高いことが示さ
れている。これらの「体験」のうち、④④については、直
感的には③③より②のほうが、参加率が高いのではないかと
予想されるが、調査結果によると結果は反対であった。

【グラフ3】によると、④④においても参加率を左右するのは①①
であることが分かる。



二

次の文章は、岡嶋裕史『ChatGPTの全貌 何がすごくて、何が危険なのか?』の一部分である(ただし、少し書き換えた)。読んで後の設問に答えなさい。

(五十点)

[Redacted text block containing the main body of the passage, with labels A and B pointing to specific parts.]

[REDACTED]

③

I

イ

②

[Redacted text block]

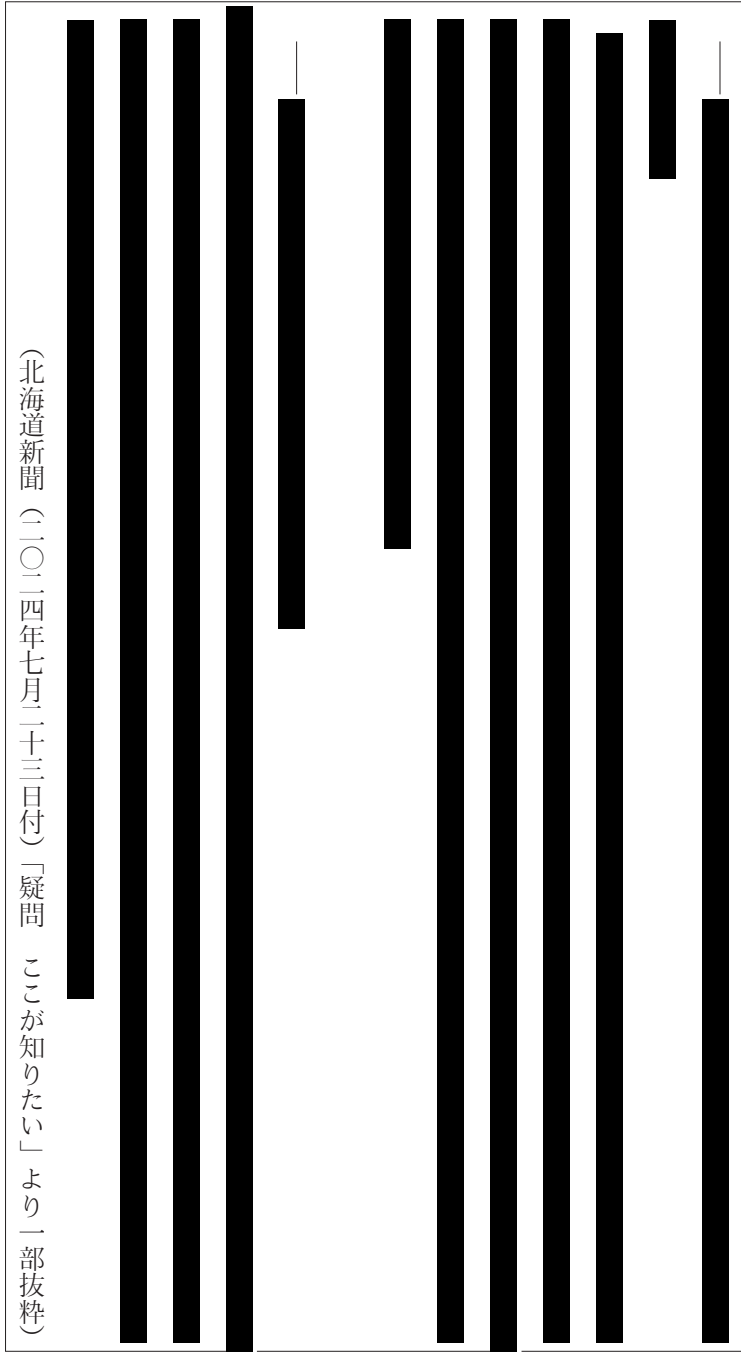
(岡嶋裕史『ChatGPTの全貌 何がすごくて、何が危険なのか?』より)

[Redacted text block]

問八

本文の理解を深めるために、教師から次の【資料】が配付された。以下は【資料】とそれに基づいた教師と生徒の対話である。空欄①③に適する表現を、本文及び【資料】から、それぞれ五字で抜き出して書きなさい（句読点も一字に数える）。

【資料】



(北海道新聞(二〇二四年七月二十三日付)「疑問　ここが知りたい」より一部抜粋)

教師——この記事は、クリプトン・フューチャー・メディア社長の伊藤博之氏へのインタビューをもとに構成されたものです。A I全般に関する岡嶋裕史氏と伊藤博之氏との考え方を整理してみてください。

生徒A——音楽の分野については、A Iの生成する楽曲は、両氏ともに、現時点では①はないという認識

